

中野区教育委員会会議録

令和6年第7回定例会

令和6年3月1日

中野区教育委員会

令和6年第7回中野区教育委員会定例会

○日時

令和6年3月1日（金）

開会 午前 10時00分

閉会 午前 10時31分

○場所

中野区役所5階 教育委員会室

○出席委員

教育委員会教育長 入野 貴美子

教育委員会委員 村杉 寛子

教育委員会委員 平本 紋子

教育委員会委員 伊藤 亜矢子

教育委員会委員 岡本 淳之

○出席職員

教育委員会事務局次長 石崎 公一

参事（子ども家庭支援担当） 小田 史子

子ども・教育政策課長、学校再編・地域連携担当課長

渡邊 健治

保育園・幼稚園課長 半田 浩之

指導室長 齊藤 光司

学務課長 佐藤 貴之

子ども教育施設課長 藤永 益次

○書記

教育委員会係長 香月 俊介

教育委員会係 伊藤 芽依

○会議録署名委員

教育委員会教育長 入野 貴美子

教育委員会委員 平本 紋子

○傍聴者数

7人

○議事日程

1 報告事項

(1) 教育長及び委員活動報告

① 2月9日 令和5年度市町村教育委員会研究協議会

② 2月21日 中野区幼稚園教育研究発表会

(2) 事務局報告

① 令和6年度当初予算(案)の概要について(子ども・教育政策課)

② かみさぎ幼稚園の建替整備について(保育園・幼稚園課)

○議事経過

午前 10 時 00 分開会

入野教育長

おはようございます。定足数に達しましたので、教育委員会第 7 回定例会を開会いたします。

議事に入ります。

本日の会議録署名委員は、平本委員にお願いいたします。

本日の議事は、お手元に配付の議事日程のとおりでございます。

それでは日程に入ります。

<教育長及び委員活動報告>

入野教育長

報告事項に入ります。

教育長及び委員活動報告をいたします。

事務局からご報告願います。

子ども・教育政策課長

それでは報告いたします。

2月9日、TKP新橋カンファレンスセンターで行われました、令和5年度市町村教育委員会研究協議会に岡本委員が参加をされました。

また2月21日、西武信用金庫の中野本店会議室で行われました、中野区幼稚園教育研究発表会に入野教育長が参加をされました。

報告は以上でございます。

入野教育長

各委員から補足、その他の活動報告がございましたらお願いいたします。

岡本委員

今ご案内いただきましたように、2月9日に文部科学省が主催の市町村教育委員会研究協議会に参加をしてきましたので、内容を簡単に共有させていただきます。

もともと文部科学省からの行政説明は、都道府県の教育委員対象にはしていたそうなのですが、市町村からもぜひやってほしいという声があったということで、最近始まったそうです。

内容は、行政説明と、あと全国いろいろな自治体から教育委員がいらっしやっていたの

で、グループに分かれての情報交換がありました。

行政説明では、文部科学省が昨年7月に取りまとめた「『令和の日本型学校教育』を推進する地方教育行政の充実に向けて」という報告があったのですが、これ、皆さんごらんになりましたかという確認がありまして、私は仕事で読んだのですが、なかなか分量のあるものですね。読んでいることを前提にするのはいいのですが、その情報の出し方として、読まれやすいものにする工夫というのにも必要なのだなと思いました。それは文部科学省だけではなくて、中野区もそうなのだと思います。

あと、総合教育会議をもっと活用してもいいのではというお話もありまして、確かに中野区は、前に教育大綱を相談するときには区長の主導で何度かしたのですが、それ以来していないので、もっと活用できる場面が探せばなとも思いました。

グループに分かれての意見交換では、学校の働き方改革のグループでした。ご一緒した方々のお話を伺っていると、取り組んでいることや課題も似たり寄ったりな感じだなという印象はありましたが、一つ、部活動の地域移行に取り組んでいるという自治体の委員さんのお話では、部活動はやりたい先生とやりたくない先生がいます。やりたくない先生の負担軽減はできるのですが、やりたい先生の自己実現と、あとは部活動の質担保のために、人材バンクに、そういう先生に登録していただくと。そうすることによって、その学校だけではなくて、地域全体の部活動の質向上にも寄与しているというお話がありました。

他方で、やはり難しいのは文化部で、全然リソースが足りていないと。都市部では何とかできるけれど、全然そこ以外のところには広がっていないというお話もありました。

あと、スクール・サポート・スタッフについても、文部科学省からは「力を入れているので」というお話がありました。ほかの自治体の委員さんからは、なかなか適した人が見つかりませんというお話もありました。副校長補佐で来てくれた人の補佐を校長先生がしなければいけないという、結構余計に手間がかかってしまう。人を探すのもなかなか大変だなということもありました。

中野区も先日、小中学校から募集のお手紙を、私も保護者としていただきました。今後どういう人が集まってきて、どういう運用ができて、どういう課題が出たのかということも蓄積をしていければなとも思いました。

働き方改革で気になっているのは、いろいろできることはあるのですが、ゴールはどこにあるのかなというところですね。何をもちょう働き方改革は成し遂げられたと言えるのか。退勤時間が短くなったらそれでいいわけではきっとないのだと思います。教育活動の充実

とか質を高めることとか、もちろん子どもたちと先生たち、保護者もウェルビーイングを実現していくような学校になっていくことを目指すことが目的だと思うので、その中の働き方改革と考えることも大事なのかなと思いました。

以上です。

村杉委員

委員活動報告といえますか、情報共有ですが、今週起きたうずらの卵を喉に詰まらせて小学1年生の児童が亡くなられたということで、本当にお気の毒なことなのですが、このような子どもの事故に対してお詳しい山中先生がおっしゃっていますが、小学校1年生前後の子どもというのは、前歯が抜けているので、やはり吸い込みやすく、喉の奥にちょうどはまり込んで詰まりやすい可能性があるということで、なるべくカットしたり、メニューをちょっと再検討したりすることも必要ですし、万が一詰まってしまった場合の応急処置の仕方を、みんなで再確認。これは学校だけではなく、家庭でも起こり得ることなので、こういう機会にぜひ皆様に伝えていただきたいと思いますが、そのあたりは、文部科学省とか、何か下りてきていますでしょうか。教えていただければと思います。

指導室長

2月26日に事故が発生したということで、すぐ次の日に東京都からも通知が届いております。

内容といたしましては、都が作成しております『食に関する指導の手引き—第二次改訂版—』というのがございます。その中に「窒息事故防止に向けて」ということで、未然防止のポイントということで、何点か書かれているものを、また改めて通知として学校にも発出いたします。

食べ物は食べやすい大きさにして、よくかんで食べるように指導するですとか、早食いは危険であるといったような内容になっています。また万が一発生した場合の留意点ということで、すぐにほかの教職員を呼んで119番通報して、救急隊が到着するまでの間は、詰まった物の除去を試みるというようなことも書かれておりますので、3月の定例校長会の中でも、改めて私からも、各学校でこういう事故が決して起きないように、先生方にも給食の時間にしっかり子どもたちの様子を見ながら指導してほしいということで、お願いしようかと思っているところでございます。

以上でございます。

入野教育長

対処方法も載っていたと聞いておりますので、それと併せて通知はいつているかと思えます。

ほかにごございますでしょうか。よろしいですか。

では、私のほうから。中野区幼稚園教育研究発表会でご挨拶をさせていただきました。これは長年、昭和の時代から、私立と公立の幼稚園の先生方が研究をして、その発表会をするというものでございまして、毎年私もご挨拶させていただくのですが、最近会場がないので、西武信用金庫の会場をお借りすると目いっぱいになります。全部の私立と公立の先生方、園長先生からはじめ、皆さんお集まりになると目いっぱいになるような会場でございました。

今年は特に保幼小連携のほうで、幼稚園が担当でございましたので、幼稚園が区立と私立と一緒にあって、保育園・小学校との連携の中で、テーマが「子どもたちの自尊感情や自己肯定感を高めるために」ということで、連携教育をやっていたいたのですね。今回は東京家政大学の岩立京子先生から「遊びの中の学びの理解と評価」ということでお話をいただいたようで、やはり小学校の担任なんかしていると、生活科の評価がなかなか難しゅうございまして、私も経験しているのですけれども、遊び、学習の中のをどう評価していくかはすごく難しい問題なので、小学校の先生も今回のお話は聞いたほうがよかったのかななんて思いながら、ご挨拶はさせていただきました。

私立の幼稚園が一つと、公立の幼稚園は一緒になってなのですけど、研究の成果を報告するというのがその後ありまして、講演をいただいたということでございます。

若手の先生方もベテランの先生方も、大分私立には男性保育士の方もいらっしゃるの、そういう面でもいい交流が図れたかなと思っております。

ほかにご発言がなければ、委員活動報告を終了いたします。

<事務局報告>

入野教育長

続いて、事務局報告に移ります。

事務局報告の1番目「令和6年度当初予算（案）の概要について」の報告をお願いいたします。

子ども・教育政策課長

それでは「令和6年度当初予算（案）の概要について」説明をいたします。

資料の2ページをお開きください。

下の表、歳出予算の目的別のところになります。5番目のところになりますけれども「子ども教育費」、こちらにつきましては、令和6年度予算といたしまして624億6,451万5,000円となりまして、令和5年度と比較いたしまして2.8%の増となっております。

次に、主な事業をご説明いたします。教育委員会に関わる部分についてご説明をいたします。

4ページをお開きください。

まず13番になります。「区立学校、学童クラブにおける医療的ケア児の受入れ」になりますけれども、こちらにつきましては、日常的に医療的ケアを必要とする児童・生徒が在籍する区立小中学校、学童クラブに看護師を配置し、必要な医療的ケアを行うものになります。

次の5ページをごらんください。

21番「区立学校のICT環境整備」になりますけれども、児童・生徒に配備された1人1台端末を活用いたしまして、AIを搭載いたしました学習クラウドとデジタル百科事典を導入いたします。また区立小中学校・幼稚園のホームページについてCMSを導入いたします。

22番「子どもの意見を反映させた教育活動の推進」では、子どもたちの意見、考え、思いを生かした取組を充実し、各学校の特色ある教育活動を推進していくものになります。

続きまして6ページをごらんください。

23番「教育相談機能の充実」では、教育相談室の夜間、それから土曜日の開室、区立小中学校へのカウンセラーの増配置など、教育相談機能を充実するものになります。

24番の「不登校児童生徒支援の充実」では、不登校及び不登校傾向の生徒の教室以外の居場所におきまして、一人ひとりの状況に応じた支援を行います。また、家庭や別室からオンラインを活用した学習を受けられる体制を強化するものになります。

25番「地域学校運営協議会・地域学校協働本部の設置」では、地域学校運営協議会と地域学校協働本部について、令和6年度につきましても中学校区を増やし継続していくものになります。

26番「区立学校の学校給食の保護者負担軽減及び区立学校在籍以外の学齢期児童生徒保護者支援」におきましては、区立小中学校の給食費について、保護者の負担軽減を図ります。また区立学校在籍以外の学齢期児童・生徒がいる世帯につきましても、給食費相当の支援を行うものになります。

27 番の「中野区立学校における働き方改革推進プランの改定」におきましては、平成 30 年度に策定いたしました「中野区立学校における働き方改革推進プラン」を改定するものでございます。

28 番「中学校部活動の地域移行」につきましては、「(仮称) スポーツ&レクリエーション体験事業」のモデル実施を行い、またモデル実施や他地区の状況も参考にしながら、部活動の地域移行の在り方を検討いたします。

29 番「鷺の杜小学校、中野本郷小学校における通学路の安全対策等」につきましては、鷺の杜小学校の開校に当たりまして、通学路における児童の安全確保のため、西武新宿線の踏切を横断する際の安全対策の実施、それから西武新宿線の横断施設を整備する場合の構造物の検討を行います。また、中野本郷小学校の建替期間中の代替校舎へのスクールバスを運行する経費となっております。

続きまして 7 ページ。

30 番「区立学校の再編等」におきましては、「中野区立小中学校再編計画(第 2 次)」に基づく区立小中学校の統合、それから「中野区立小中学校施設整備計画(改訂版)」に基づく学校施設の改修・解体・新築工事を行うとともに、新校舎への物品整備、移転等を行うものになります。

31 番「区立学校の環境改善に向けた計画的な改修」につきましては、区立小中学校のバリアフリー化を含めた環境改善に向けた改修を行っていくものになります。また、児童数の増加に伴い、普通教室の不足が見込まれる学校につきましては、増築等の対応を図っていく経費となります。

32 番「区立図書館児童コーナー等環境改善事業」につきましては、江古田図書館の児童コーナー等の整備をする経費となっております。

報告は以上となります。

入野教育長

ただいまの報告につきまして、質問等ご発言がありましたらお願いいたします。

伊藤委員

ご説明ありがとうございます。この会でも何度も話が出た一連の予算につきまして、こういう形で決定してきたことで、とても安心いたしました。いずれをとりましても本当に重要なものばかりでして、医療的ケア児もそうですが、区立学校の学校教育に校舎建替え、通学路、ICTの環境整備等々は本当に中身に直結することですので、今後もどういう教

育を目指していくのかということを考えながら教育を構想する中で、建築や様々なICT環境や、人的配置を考えていけるとよいのかなと感じております。

そのような意味では、地域学校運営協議会、地域学校協働本部の設置ということも広がってまいりましたし、本当に新しい学校体制というところに、どんなふうに新たなものを構想して、実現していくかという大きなスタートラインに立つとも言えるのかなと感じております。

教育相談機能も拡充していただいて大変ありがたく存じますし、そういったことも含めて、子どもと先生が生き生きと暮らせる学校生活ということで、一つ一つのことを横につなげながら、ぜひ新しい学校づくりということで、これからも構想していけたらと思いました。

以上です。

岡本委員

質問をさせていただきたいのですが、21番の「区立学校のICT環境整備」のところで、「AIを搭載した学習クラウドとデジタル百科事典を導入します」と。これも以前の定例会でご説明いただいて、審議したところだと思うのですが、実際にこれがどう今年度使われる、使われたのかという検証もちゃんとしていって、また次につなげていく必要があると思います。何かそのあたりについて、現段階でお考えがあったら教えていただけますか。

指導室長

今年度、各学校で様々なAIドリル等活用していただきました。学校からの意見や校長先生方からも様々な意見をいただいて、子どもたちが自分から主体的にiPadで学習をするなんていう姿も非常に多く見られてきたというようなお声もいただきまして、来年度、全小・中学校に同じAI学習ドリルをいよいよ導入させていただく予定ではおります。

来年も様々な活用が各学校で進むと思いますので、どういう使い方をしたらより子どもたちの意欲が上がったですとか、学習面でも成果が上がるような活用の仕方というのを、ぜひ各学校からも出してもらって、全区的にそういうのを周知しまして、より積極的に活用してもらえたらいいかなとは考えています。

紙のドリルをこれまで使ってきたような部分も、算数・数学については、かなりこのAI学習ドリルで代替がきくなんていうことが、学校からも今年度、話が来ましたので、そのあたりもこれまでと同じように紙のドリルを購入するというようなことではなく、それに代わるような使い方をぜひ積極的に進めてもらえたらと考えているところでございます。

平本委員

ご説明ありがとうございました。特に不登校児童の生徒支援の充実などを含めて、子どもたちの支援に関わってくださる方々が増える方向で予算が拡充されていることは、大変ありがたく思います。

今後予算の使い方は細かいところになるかと思いますが、そういった子どもたちの支援に関わってくださる専門的な方々や皆様が研鑽を積めるような機会や、研修等についても、ぜひ予算の使い方を考えていただけるとありがたいなと思います。

また、もう1点意見としてなのですが、直接学校教育に関わる部分ではないのですが、いただいた資料の中で3ページの2番のところ、「児童相談所が行う処遇等に対する子どもの声を尊重する仕組み」の構築の部分については、令和5年に既に児童福祉審議会から、子どもの意見表明の支援のアドボケイトについての提言が出ておまして、恐らくそれに基づいて第三者が意見表明を支援する仕組みをこれから考えてくださるところだと思うのですが、これからモデル実施等がされて、子どもの意見を丁寧に聴く仕組みについては、学校教育の中でのアドボケイトの中にも参考になる部分があるかと思うので、ぜひ関わってくださる専門の児童福祉司や児童心理士の方々との意見交換が、学校教育に関わる専門職の方々ともつながって、よりよい連携によって、いろいろなことが、意見交換してよい方向に進むように考えていただけるとよいなと思います。

以上です。

村杉委員

私も、13番の「区立学校、学童クラブにおける医療的ケア児の受入れ」についてですが、これは意見ですが、保護者の方たちにとっても大変重要なことだと思いますので、ぜひ進めていただきたいと思いますのと、あとまた17番の「障害児標準時間保育の実施」ですね。こちら皆様とても興味のあるところだと思いますので、保護者の方たちの希望でもあると思いますので、ぜひ進めていただきたいと思います。

以上です。

伊藤委員

3ページ6番の「子どもの貧困対策」なのですが、こちらも非常に重要なものだと考えておりますけれど、先般同じようなテーマで詳細な調査結果が出ていますので、そうした既存の、出たばかりの調査結果もよく活用していただけると、アンケート調査、同じことを調査することはあまり効率がよくないかもしれませんので、先日出てきた調査をさらに分析

していただく中で、必要な学習支援に予算をたくさんつけていただけるといいのではないかなと思いました。

以上です。

参事（子ども家庭支援担当）

こちらの調査なのですが、実は令和元年度に小さいお子さんをお持ちの保護者の方や小中学生を対象とした調査ものでございまして、昨年度の高校2年生を対象とした調査の詳細分析とはターゲット層が違うということと、あと調査項目も国などでやっているものの、かなり横引きのものがございまして、5年に1回の感覚でやっていくというものの2回目という形になるものでございます。

伊藤委員

縦断的に追いかけていくということではなくて、恐らく集団は別になるけれども、定期的にやっていくというような調査ですよ。分かりました。

より小さいお子さんということで今後の支援に関わっていくと思いますので、いずれにしましても、アンケート調査はその後どう分析をして生かすかというところが要かなと思いますので、ぜひ政策に具体的に反映させていただけるといいかなと思います。

よろしく願いいたします。ありがとうございます。

入野教育長

ほかにごございますでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございます。

それでは、本報告は終了いたします。

次に、事務局報告の2番目「かみさぎ幼稚園の建替整備について」の報告をお願いします。

保育園・幼稚園課長

それでは「かみさぎ幼稚園の建替整備」につきまして、資料に沿ってご報告申し上げます。

かみさぎ幼稚園は、昭和43年度に建築竣工してございまして、令和10年度には築60年を迎えるため、建替整備を行う必要がございます。

1、建替整備中の仮園舎でございまして。現園舎の解体及び新園舎整備工事中は園舎が使用できなくなるため、鷺宮小学校跡地に仮園舎を整備し、教育を行う予定でございまして。

なお、鷺宮小学校跡地につきましては、都立中野特別支援学校が体育の授業を行うため貸付を行う方向で協議しているところでございまして。都への貸付部分及び仮園舎部分につ

きましては、今後調整を進めてまいります。

2、今後の予定でございます。令和6年6月にかみさぎ幼稚園建替整備スケジュールを策定する予定でございます。

ご報告は以上でございます。

入野教育長

ただいまの報告につきまして、ご質問、ご発言がございましたらお願いいたします。

伊藤委員

ご説明ありがとうございます。築60年ということで、傷みもあると思いますし、建替えは必要なものかなと認識しているところです。

ただ、小さいお子さんなので、やはり鷺宮小学校と今のかみさぎ幼稚園の位置を考えますと、大分大きな変化になるのではないかなと思いますので、保護者の方、地域の方への周知がなるべく早く行えるような形でのスケジュールの策定ですとか、これは本当に何度もご説明いただいて致し方のないことだと感じておりますが、どうしてもスケジュールなどが、後からいろいろなことが出てくることで変更が生じてしまったりということもあると思いますので、なるべくお子さんの教育計画をずらしてしまわないように、「こういうことになっていると思わなかった」ということがあまりないようにできると、もしかしたらいいのかなとは思っています。

もちろん徒歩圏ではあると思いますので、たくさん距離を歩くということで、体力づくりも含めてメリット、また、幼稚園が近くなるというご家庭もあると思いますので、よい面もたくさんあると思いますので、よいチャンスとしながら、なるべくスケジュールの策定や周知を丁寧に行っていただけるとありがたいなと思いました。

以上です。

入野教育長

ほかにございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは本報告は終了いたします。

先ほどの「主な取組」に関して、先日、中野本郷小学校の通学路についてはご報告申し上げたかと思うのですが、鷺の杜小学校のほうの、新しくできますところの登校訓練のことを、口頭でご報告させていただいてよろしいでしょうか。

学校再編・地域連携担当課長

2月になりますけれども、鷺宮小学校と西中野小学校が、それぞれ登校訓練を行います。

た。鷺宮小学校につきましては、一旦鷺宮小学校に集まりまして、新しくなります鷺の杜小学校のほうまで先生が誘導しながら、警察官もポイント、ポイントに立ちながら、通学訓練を行ったというところになります。

課題として挙げたところが一つありまして、正門のところの道路が少し下り坂にはなっているのですが、自転車の通行が少し多くて、その道路を横断するというところが出てきますので、そのところについては、警備員等の配置の中で考えていくというようなことを考えています。

それから西中野小学校も登校訓練を行いました。そのときは、メインは、踏切を横断することになりますので、人数、グループ分けをしまして、朝の登校時間ではないのですが、9時過ぎになったのですが、児童が踏切を横断したというところになります。そのときも警察官立会いがありまして、児童が10人ずつぐらいに分かれて、横断をしていったというところでした。踏切横断そのものはスムーズに渡っていきました。

そのときに課題になったのが、児童が踏切を渡った後に、また道路を横断するという場面が出るのですが、どの場面で横断するのが一番安全なのかというところで、警察の方からアドバイスを受けたりして、右側を通るのがいいのか、左側を通るのがいいのかというところについて、校長先生のほうで今検討していると、このような状況になっております。

報告は以上となります。

入野教育長

改善できる点は学校とも相談しながら始まる前に行っていきたいと思っておりますし、時間がかかるものについても、ご意見を伺いながら対応してまいりたいと思っております。

予定にない報告をさせていただきました。

それでは、最後に事務局から次回開催についてご報告願います。

子ども・教育政策課長

次回の教育委員会でございますけれども、3月8日午前10時から、区役所5階、教育委員会室で行う予定でございます。

報告は以上でございます。

入野教育長

以上で本日の日程は全て終了いたしました。

これをもちまして教育委員会第7回定例会を閉じます。ありがとうございました。

午前 10 時 31 分閉会